

1996年3月13日第3種郵便物認可 1997年2月24日発行（第2・4月曜日発行）

News Source of Educational Audiology

会員の誌代は会費に含まれています

聴能情報誌

みみだより

第318号

第3巻

通巻403号

編集・発行人：みみだより会、立入 哉 〒300-11 茨城県稲敷郡阿見町荒川本郷2150-1-1-203 電話：0298-41-7069 FAX：0298-41-5682

新刊図書

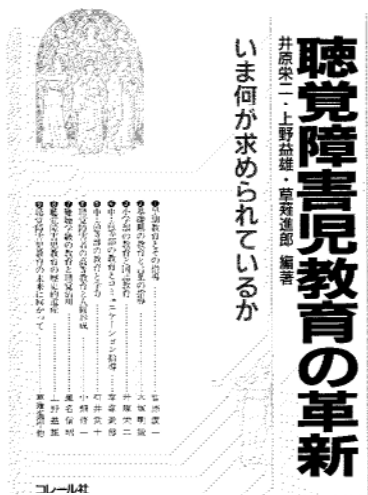
聴覚障害児教育の革新 コレール社刊

井原栄二・上野益雄・草薙進郎編著 2575円

コレール社の聴覚障害児教育 全5巻の最終刊行分として待望の1冊「聴覚障害児教育の革新」が刊行となった。すでに当編集部を通じて予約をされた方にはお手元に届いているかと思うが、本書の「刊行に寄せて」から下記の文を引用して紹介に代えたい。

この人々の経歴には一脈の共通点がある。それは教師稼業の出発点が、豊学校教師から始まっている点にある。そしてその青年期の鋭い感性と、柔軟な身体をとおして受けとめた「聴覚障害児像」を、その後、一貫的に大切にされ続けておられることである。

ここにはこの人たちのみが発散する、独特の体臭がふんぶんと漂っている。これは、机上だけの美しい想念への、逃避を意味するものではない。「理論と実践の統合」にかける、情念である。情念との語が不適切であれば、執念である。こうした意味では、これだけの執筆者のそろい踏みは、今後、不世出であるに違いない。



目次

- 第1章 早期教育とその指導（菅原廣一）
- 第2章 基礎期の教育と言葉の指導（大塚明敏）
- 第3章 小学部の教育と国語教育（井原栄二）
- 第4章 中・高等部の教育とコミュニケーション指導（草薙進郎）
- 第5章 中・高等部の教育と学力（石井武士）
- 第6章 聴覚障害者の高等教育と人間形成（小畑修一）
- 第7章 難聴学級の教育と聴覚活用（星名信昭）
- 第8章 聴覚障害児教育の歴史的遺産（上野益雄）
- 提言 聴覚障害児教育の未来に向かって（草薙進郎・他）

補聴器新製品

高出力耳かけ形補聴器、現れる！

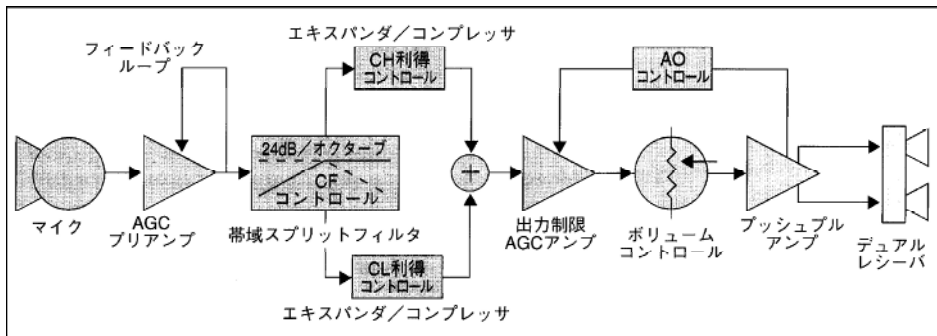
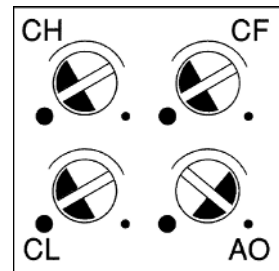
かねてから発売が予定されていたスターキー社の高出力耳かけ形補聴器が、ついに日本発売となった。久しぶりの高出力耳かけ形補聴器として、期待を寄せていたが、その期待に十二分に応える新時代補聴器の登場である。

今回、スターキー社から発売された「ユーロラインA675」には、2器種がある。1つはAGC-IとAGC-Oを組み合わせ、低歪み増幅を可能にしたSMArTシステム技術を基盤としたシークエル回路採用の「A675シークエル」と、従来のPC回路を搭載した高出力「A675TSP」の2器種である。この2器種とも、補聴器本体内に2個の高出力レシーバを搭載したデュアルレシーバシステムである。また、両器種とも、オーディオインプット（外部入力端子）とTコイルを備えている。

私の方で、この2器種を臨床で試用できる機会に恵まれたが、「A675シークエル」は、平均聴力127dBの難聴者が「これは音がきれい」と感嘆するほどに再生音が堅実であり、「A675TSP」は同じ難聴者いわく、「パワーを感じる」補聴器である。メーカーのカタログはいたって控えめであるが、この2器種とも「新世代」を予感する強力な新器種であることに間違いない。しかし、低音部の利得がやや弱く、またMTポジションがないなど、選択上、マイナスポイントもある。低音部の利得が重要ではなくなる幼稚部以降の子ども、あるいはE38Pなどの高音部を強調できる補聴器を使っていたユーザーにとっては、選択の広がりとなると思われる。周波数特性も重要だが、シークエルシリーズの「音の良さ」は、補聴器をフィッティングする側もされる側も、実際に聞いて欲しいと思う。

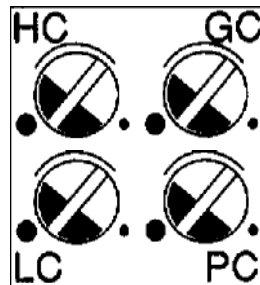
◆ A675シークエル 158,000円

定評あるシークエル回路の高出力版。4つの調整用トリマを持つ。回路順に調整装置を見ると、ニーポイント（AGC動作開始音圧）が65dBに固定されている入力AGCがあり、その後、CFトリマで調整するチャンネル分離周波数によるフィルターで2chに分離される。高音部、低音部の利得はそれぞれCHとCLトリマで調整され、周波数特性を決定する。最終段の出力AGCは、AOトリマで調整するという仕組み。

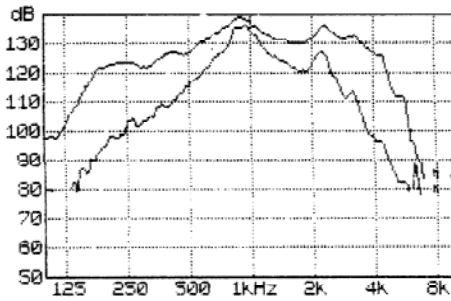
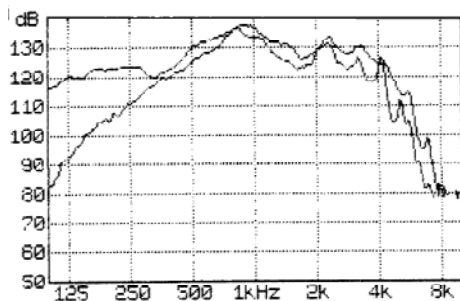


◆A675TSP 148,000円

TSPとは、タンデム スーパー パワーの略。名前からして強力そうだが、シーケルと比較すると、純音での周波数特性では最大音響利得で数dBの差である。むしろ、シーケルとの差は、出力制限の方法の差にある。シーケルがAGC-IとAGC-0と組み合わせたAGC処理で出力制限をするのに対し、TSPではPC（ピーククリッピング）処理で出力制限をかける。聴感的にはシーケルが柔らかい音を出すのに対し、TSPはきびきびとしたキレの良い音といった感じ。この辺の音質上の好みは、今まで使っていた補聴器の音質に大きく左右されることもあるので、買い替えの場合は、今まで使っていた補聴器がAGCかPCかで最初に推薦する補聴器をシーケルかTSPに決めても良いかも知れない。あるいはとりあえずシーケルで聞いてもらい、その音の良さが気に入れば「シーケル」、浮つきや音量感の不足を訴えたらTSPという選択も可能と思われる。



こうした高出力補聴器は音質よりも「出力優先」の傾向があったが、これから「様々な選択が高出力補聴器の中でも可能になるのだ」という予感を感じる。今回の2器種はどちらも高音重視という周波数特性なので、いままで2kHz以上の補聴閾値がスピーチに届かなかったというケースにも適応可能であろう。問題はそうした時のイヤモールドの選択である・・・。



シーケル 下がFOG60、上がSSPL90（TSPも共通） TSP（HCを半分かけて測定した）
共にM.V.=4,低音調整器はOPEN、出力制限装置はかけていない、ノーマルフック使用

		シーケル	TSP
最大音響利得	ピーク	82	81
	周波数平均	73 ± 4	75 ± 5
最大出力音圧	ピーク	139	142
	周波数平均	131 ± 4	134 ± 4

2ccカプラ

詳細の問い合わせ先：スターキージャパン（株）

〒224 横浜市都筑区仲町台5-2-20

TEL:045-942-7226、FAX:045-942-7158

学会誌・研究会誌抄録

★「日本音響学会誌」VOL. 53, NO. 2, 1997

「デジタル演算方式の騒音計を分解する」小野測器（株）、160-162

新たに開発された騒音計についてデジタルとアナログのそれぞれの良い点に触れながら、概要と性能について説明したもの。

「最近の音響関係規格審議状況（その1）」三浦甫、163-166

国際規格とJISとの整合化事業及びIEC/TC29での審議の概要についての報告。

IEC/TC29では、補聴器やオーディオメータに関する規格の改訂や新規制定を行っているが、ここでは昨年2月に南アフリカ、プレトリアで開催された総会以降の規格の動き、及びここ数年程の間に制定された規格について記してある。特に、補聴器の特性、補聴器、骨導振動子の測定のための機械的カブラ、補聴器のTコイルに関するもの、語音オーディオメータの機器、高周波数のオーディオメータ規格などなどについての規格案の新規作業・見直し作業・投票動向・IEC規格などを紹介している。

★「聴覚障害」特集—聴覚活用— VOL. 52, NO. 1, 1997

「脳で聴き、心でわかる」吉野公喜 3

「聴能サービスの環境整備」立入 哉 4-9

「意欲的な聴覚学習をめざして」延本啓二 10-14

「赤外線を利用した集団補聴システム」大原良紀 15-19

「最重度難聴児の補聴を考える」加藤哲則 20-24

「本校における人工内耳装用児の取り組み」佐々木勝 25-30

★「聴覚障害」特集—テレコミュニケーション— VOL. 52, NO. 2, 1997

「聴覚障害児のテレコミュニケーション学習の課題」大沼直紀 3

「聴覚障害児におけるテレコミュニケーション」佐藤正幸 4-9

「電話やファクシミリの使用について」秋田壘学校 10-13

「マルチメディア活用とコミュニケーションの広がり」多田幸治 14-21

「実践的なコミュニケーション能力を育てるには」福本弘文 22-26

「聴覚障害児のためのテレコミュニケーション」C. J. Jensema 27-32

発行元：聾教育研究会 誌代300円（送料80円/冊）連絡先=TEL&FAX:047-372-2672

★「The EM 教育医事新聞」第149号、97/1/25発行、1997

「人工内耳装用児」川野通夫 1

「オーディオメータの現状と実態」耳鼻咽喉科健診座談会 2

「心因性難聴」 3-5

「1歳半検診にも聴力検査導入を」 6

「小児の補聴器 専門家の診断・指導を」細井裕司 8

「聴覚障害教育の『社会化』 国立特殊教育研究所・菅原廣一氏にきく」 9

「補聴器に専用電波」 9

「聾学校小学部3年言語指導用教科書・新年度に改訂版」 9

発行元：教育医事新聞社 誌代700円、連絡先=TEL:03-3356-6571、FAX:03-3356-6682

研究会開催

Personal Computer Volunteer Conference '97

パソコンボランティア・カンファレンス'97

「パソコンボランティアと障害者電子ネットワークの挑戦」

期 日 : 3月15日(土)・16日(日)

会 場 : 早稲田大学国際会議場(新宿区西早稲田1-20-14)

主 催 : 日本障害者協議会主催

参加費 : 6,000円(予約4,000円)、レセプション5,000円

申込方法 : 専用の申込書があるので、申込書を下記に請求の上、

3月5日(水)までに参加費等を指定口座に振り込みのこと。

〒173 板橋区小茂根1-1-7 日本障害者協議会事務局

TEL: 03-5995-4501, FAX: 03-5995-4502

主な内容:

- ◆総合相談コーナー/パソコン通信ブース/アクセシビリティ機器ブースなど
- ◆記念講演: 「障害者とパソコンボランティアの可能性」金子都容(慶応義塾大学教授)
- ◆記念シンポジウム「パソコンボランティアの挑戦」

シンポジスト: 畠山卓朗(横浜市総合リハビリテーションセンター企画研究室係長)

青木与志夫(NIFTY-Serve障害者フォーラム「技ボラ」代表)

関根千佳(People工作クラブ「ばそボラ」代表)

◆リレートーク:

「障害者とアクセス権をめぐる国際動向」長瀬修(障害・コミュニケーション研究所)

「インターネットと障害者利用のわが国の現状」丹直利(日本障害者雇用促進協会)

「富山県山田村にみたネットワークづくり」服部里衣子(NHK富山放送局ディレクター)

「筋ジスのなかまたちの絆を深めた夢の扉」矢澤健司(日本筋ジストロフィー協会)

「重度身障者の意思伝達からサイバードまで」坂爪新一(東北大学)

「地域でのサポートシステムのための政策提言」伊藤栄一(神奈川県総合リハセンター)

字幕付き映画**義務と演技** (おとな向きの内容ですのでご注意ください)

上映劇場	上映日程	電話番号	FAX番号
札幌東映	3/3(月)~5(水)	011(231)2568	011(231)2569
丸の内東映	3/8(土)~10(月)	03(3535)4741	03(3563)1777
横浜伊勢佐木町東映	3/2(日)・3(月)	045(261)3800	045(253)6838
名古屋東映	3/5(水)~7(金)	052(971)3440	052(971)4012
金沢東映2	3/12(水)・13(木)	0762(31)5853	0762(31)5869
京都大宮東映	3/4(火)・5(水)	075(841)3714	075(841)3059
福岡東映	3/3(月)・4(火)・6(木)	092(281)0757	092(281)0776

詳しくは: 東映(株)映画営業部 高橋様 TEL:03-3535-7179、FAX:03-3535-7186

公演案内

デフ・パペットシアター・ひとみ公演

ろう者と聴者が協同して現代人形劇の可能性を追求している「デフ・パペットシアター・ひとみ」が賢治誕生100年を記念して「ドッテテ ドッテテ ドッテテド」＜賢治のトランク＞をつくりました（略）。

「デフ・パペットシアター・ひとみ」は、1981年より北海道から沖縄までの全国公演を開始し、これまでに350地域、1800ステージにのぼる公演を各地の地元の皆さんと一緒に作り上げている劇団です。その活動は福祉と文化の架け橋となる大きな役割を果たしています。そして言葉を越えたビジュアルな舞台は人形劇を世界共通のものとし、ヨーロッパ、アメリカ、中近東、ニュージーランド、韓国での海外公演でも高い評価を得ております（略）。ここに新作「ドッテテ ドッテテ ドッテテド」＜賢治のトランク＞を全国の皆さまにお届けいたします。（チラシより）

○富田林公演：3月2日（日）13:30開場 14:00開演
富田林市立公会堂 前売り大人1700円（当日1900円）

○東大阪公演：3月3日（月）18:30開場 19:00開演
東大阪市民会館大ホール
前売り大人1700円（当日2000円）小人1300円（当日1500円）
前売り親子券大人2500円（こども高校生まで）（当日2800円）

○問い合わせ：小林（TEL/FAX:0729-58-3994）

（「みみより情報」〔大阪市立聾学校聴能研究班発行〕335号より許可を得て転載）

続報

3月からメッセージ⇔FAXが可能に

関西シティメディアのメッセージが2月1日から大阪でも開始されたことはすでにお知らせしたが、3月からはさらに便利な機能が可能となる。現在はメッセージから家庭のFAXへの送信は可能となっているのだが、3月からは家庭のFAXからメッセージへの送信が可能となるとのこと。携帯電話感覚での使用が可能となるわけだ。ただ、家庭のFAXからメッセージへの送信の場合、直接の送信ではなく、ホスト局の「メール箱」への送信で、いつはFAXが届いたかがわからないため、時々このメール箱にアクセスして確認をする必要がある。

しかし、聴覚障害者にとっては、外出先で携帯電話のように自由にFAXを送受信できることになり、なかなか便利な機能といえる。

（「みみより情報」〔大阪市立聾学校聴能研究班発行〕335号より許可を得て転載）

研修会予告

九州・山口地区 難聴教育担当研修会 (初級)

日程：6月14・15日 (第2土・日曜日)

会場：福岡市内で照会中

内容：補聴器・聴覚活用に関する講義と少人数実習を予定

・・・詳細は4月中旬に改めてご案内します。

作品展開催

筑波技術短期大学 建築工学科 第5回 卒業記念作品展

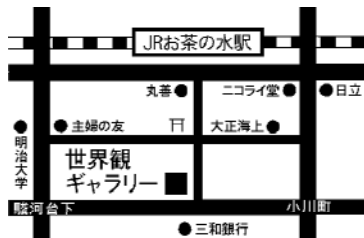
期日：2月25日(火)～28日(金)

11:00～19:00

(但し、初日は13時から、最終日は16時まで)

会場：世界観ギャラリー

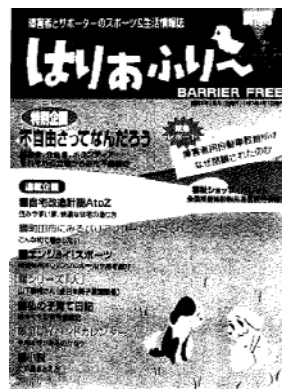
(千代田区小川町3-28-13 ラフィスお茶の水1F)



新雑誌創刊

ぱりあふり

ベースボール・マガジン社は、障害者や家族（介護者）を対象とした月刊誌『ぱりあふり～』を創刊することになった。創刊号紹介記事によると、『ぱりあふり～』は、日常のあらゆる情報が最も不足している障害者をテーマに、より「快適に」「積極的に」をキーワードにしたスポーツ&生活情報を提供する月刊誌とのこと。創刊号では、「自立のいろは」、「自宅改造計画」、「町田市にみるバリアフリーな街づくり」、「エンジョイ！スポーツ」、「私の子育て日記」などの内容を予定しているという。（バリアフリー：高齢者や障害者の社会参加を阻む環境的・制度的・心理的なバリア（障壁）のない社会を目指す活動の合言葉。）



詳しくは：〒101 東京都千代田区三崎町3-10-10

(株) ベースボール・マガジン社『ぱりあふり～』編集局

TEL:03-3238-0130、FAX:03-3238-6715

講演会開催

米国における難聴児教育の現状
人工内耳装用に対する教育効果ワークショップ

聴覚障害児者のリハビリテーションにおいては、聴覚を活用しながら日常生活に効果的なコミュニケーションをはかることが大切です。そのためには、病院の言語治療士、聾学校や難聴学級の担任、通園施設の指導者、そして両親がチームとして協力し、長期的な見直しをもって段階を経ながら取り組む必要があると思われます。聴覚活用に際して、最近人工内耳の装用が注目されておけます。しかし、人工内耳によって外界の音そのものが入っても、その後のリハビリテーションが適切に行われなければ、効果的なコミュニケーションの活用をはかることは難しいでしょう。

このたび、実際に人工内耳を装用して教育を受けた11歳の少女の母親であり、同時に聴覚障害児教育に長年携わってこられた米国カンサス大学聴覚障害児教育講座の主任教授であるBarbara Leuetke-Stahlman（バーバラ・ルツケ・スタールマン）先生とそのお嬢さんをお迎えして、ワークショップ「米国における難聴児教育の現状－人工内耳装用に対する教育効果－」を3月20日（休日の木曜日）に企画いたしましたので、ご案内させていただきます。

バーバラ先生は、現在、聴覚障害者のためのギャルデット大学研究センター所長であるDr.Moore先生の下で博士論文を完成させましたが、それ以前に聾児や重複障害難聴児（精神遅滞、視覚障害）の教育に携わってこられました。難聴児のトータルコミュニケーションについて、広い視野からさまざまな試みを続けてこられ、米国難聴児教育の第一人者です。また、ご自身が高度難聴児の親として日常生活の活動へ関わってこられました。当日はこのお嬢さんにも講演中に参加していただく予定です。

なお、当日夕刻（17：30）からバーバラ先生をかこんで夕食懇親会があります。懇親会の参加費は、3,000円を予定しております。

開催期日：3月20日 10:00～17:00

会場：上智大学四ツ谷キャンパス中央図書館9F 921

ワークショップは英語で行われます（日本語への通訳あり）

参加費：無料（但し、資料の実費（1,000円以下）を徴収）

申込締切：3月8日

主催 上智大学言語障害研究センター（〒102 千代田区紀尾井町7-1）

TEL & FAX：03-3238-3557

後援 聴覚障害教育福祉協会、全国聾学校校長会、全国聾学校PTA連合会

日本聴能言語士協会、日本言語療法士協会

ワークショップ参加申込書

ご氏名

ご所属

ご住所

TEL : FAX :

(チェックをつけてください)

ワークショップ	<input type="checkbox"/> 参加する	
懇親会	<input type="checkbox"/> 参加する	3,000円× _____人
	<input type="checkbox"/> 参加しない	
弁当の用意	<input type="checkbox"/> 必要	1,000円× _____個
	<input type="checkbox"/> 不要	

 合計金額 円
領収書は必要ですか? 必要 不要

送付先: FAX=03-3238-3557

郵送先=〒102 千代田区紀尾井町7-1 上智大学言語障害研究センター

学会開催

日本音響学会 春季研究発表会

日時: 3月17日(月)~19日(水)

会場: 同志社大学田辺キャンパス (京都府綴喜郡田辺町: JR学研都市線同志社前駅)

参加費: 2,000円 (学生1,000円、非会員4,000円)

内容: (特に関係あるもののみ抽出)

17日13:00~16:00

スペシャルセッション「動物の脳から聴覚機構を学ぶ」

18日 9:00~16:00「聴覚」

「Windows版聴覚障害児用発話訓練支援システム」梅崎太造他 (中部大)

「PiPiとべないホテルは、やさしさや思いやり、勇気を
伝えてくれる。とてもステキなアニメーション映画です。」

試写会情報

PiPi とべないホテル

一度ご覧下さい。そして、次はあなたの地でも！

3月29日（土）13：00～

会場：戸山サンライズ（地下鉄 早稲田駅下車、全国身体障害者総合福祉センター）

入場無料、下記書式で事前に参加申し込みをすること

なお、中田新一監督やNHK文字放送担当者との座談会もあります

（主催：（全国）難聴児を持つ親の会、協力：配給委員会）

F A X 送信先=03-3203-9938

お名前

ご住所

試写会鑑賞者数 合計.....名

監督へのメッセージなど

.....

..... **求む！ 開催情報**

今年の学会・研究会日程（317号に追加）

- 6月14～15日 九州・山口地区難聴教育担当研究会（福岡市）
- 7月12日 小児の言語障害への援助―聴覚障害と吃音の場合―（東京都）
- 7月15～25日 「通級による指導」指導者講習会（国立特殊教育研究所）
- 8月11～13日 言語・聴能実践夏期講座（東京千代田区・国立教育会館）

ビデオ紹介**鏡のドレス・碧いうさぎ 酒井法子**

酒井法子のヒットシングル「鏡のドレス」「碧いうさぎ」のビデオ。ビデオのコメントによれば、
[昨年の暮れ、テレビで「碧いうさぎ」のフルコーラスを手話でうたったところ、本当にたくさんの方々から「私もぜひ手話で歌いたいのですが……」というお手紙をいただきました。音楽という素敵なものを誰かに伝えるのに、“声”のほかにも“手”というコミュニケーションの方法があったんだ、あらためて気づいて感動しました。

その「碧いうさぎ」と「鏡のドレス」を、このビデオでフルコーラス手話で歌いました。この楽しさをより多くの人に感じてもらえたら嬉しいです。酒井法子]

歌詞が字幕ではなく歌詞カードになっていること、画像にスモークがかかっていること、手話が見づらい、手話が単語の羅列で手話を見ても、歌詞が思い浮かぶことが難しいなど気になったが、聴覚障害者のためのビデオというより、手話入門者の教材的・啓蒙的ビデオといった感じ。全12分。ビクターVIVL-193。2,718円。

**新製品紹介**

聴診音と環境音の両方の
増幅を可能にする電池駆動式

パワー聴診器

以前、私もある内科医からのご相談を受けたことがある。「聴診器の音が最近聞こえにくくなった」という訴えで相談においでになったが、結局、ウマイい補聴手段に巡りあえなかった。補聴器の上に、聴診器をかけることはできないのだ。パワー聴診器はこうしたケースで威力を発揮する。胸部ユニットに675電池(PR44)を使用する増幅器があり、聴診音だけでなく、環境音も増幅できる。周波数特性の変更の可能性は小さい(スイッチ2段切替)が、最大音響利得60dBを持つ立派な補聴器でもある。詳しくは、スターキージャパン社にお問い合わせを。



〒224 都筑区仲町台5-2-20 TEL:045-942-7226、FAX:045-942-7158

新素材紹介

イヤモールド素材 サーマソフト

今号、2～3ページにご紹介の通り、重度難聴児のための高出力補聴器にも、新しいアンプを投入した器種が登場してきた。今、イヤモールドの良し悪しが補聴の成功・失敗を左右させる鍵であることに間違いない。

先日、徳島で「補聴学フォーラム」が開催されたが、その中で、ある成人難聴者が「ハウリングして補聴器がうまく使えない」と訴えていた。それに対して、私はこう答えた。「イヤモールドにはハウリングを止めるという役目もある。もし、ハウリングを止めることができないイヤモールドがあるとすれば、それは役目を果たしていない不良品なのだから、代金を支払う必要はない」と。実際、いくつかの聾学校に行って驚くことの一つに、イヤモールドの品質の悪さを挙げるができる。この問題の多くは、学校の出入り業者が素材の良いイヤモールドを選択していないという現状に一因があると言っても過言ではない。

○もし、今、ハウリングで困っていたら、別の素材を試してみる。

○もし、出入りの業者が別の素材でイヤモールドを作ることを拒否するならば、出入り業者を変える（向上心のない業者さんとおつきあいを続ける意味はない）。

さて、私の個人的好みとして、以下のイヤモールドをお奨めしてきた。

◆ 団イヤモールド研究所 E-Compound ソフト

◆ コルチトーン補聴器（株） Polisher II ソフト

今回、これらに加えてダナジャパン（株）の「サーモソフト」をお奨めしたい。

「サーモソフト」は、UVで固化する材料を用いることで、製造行程で温度変化や高圧力をかけなくなったために、製造行程で発生する変形がないという長所を持つ。さらに、この新素材は、体温によって素材が柔らかくなり、外耳道との密着性を高めることができるという。その他、実際に試用してみたが、ベント孔を開けるなどの細工や補修がしやすいというmodification上の長所もあった。ぜひ、使用を試していただきたい素材である。

詳しくは、ダナジャパン大和研究所まで。

〒242 神奈川県大和市深見西4-7-24 TEL:0462-60-3300、FAX:0462-60-3310

◆イヤモールドについて、驚かされた逸話を1つ

先日、ある東北から来た子どもさん（両耳130dBスケール外）に対して、「高音部より低音部を重視したフィッティングが必要だし、ハウリングのコントロールの必要もあるから、イヤモールドの音道径を1mmにして」と言って、地元の某販売店にお願いした。その結果、ハウリングを止めることができた。その数ヶ月後、2～4kHzが95dBぐらいの子どもが来て、イヤモールドを見ると音道径が1mmになっているので理由を尋ねると、その東北の同じ販売店でイヤモールドを作ってもらったとのこと。今度は、「このお子さんは高音部を生かせる子どもなんだから、ホーン形（終端4mm）にして」と依頼した。イヤモールドに対する感心の薄さと、某有名メーカー系列にしても、この「お寒さ」は何だろうかと思わされた一件でした。